



先日、お寺の掲示板で「教育・教養は大事。歳を重ねたら今日行くところ今日用のあ  
ることを大切に：」という言葉に出会いました。この言葉の面白さは語呂合わせにもあ  
りますが、古代インド人が人生計画の指針とする【四住期】の「林住期」に理念の裏付  
けを置いていると思われまます。

【四住期】（年齢の区分は現代とは違いがあるでしょうが）

\* 学業期（零才〜二十才）

\* 稼業期（二十才〜四十才）

\* 布施期（四十才〜六十才）

\* 林住期（六十才〜）

人生で、学ぶ期・稼ぐ期・施す期の世代は明確な目的があります。しかし、林住期  
（高齢者）と呼ばれる世代となれば、寿命という言葉が頭の片隅に浮かんできます。そ  
して、最後の人生に明確な目的を持つ難しさを感じます。日々体力的な衰えを実感して  
いく中で、今までの価値観からの転換を余儀なくされます。

この悩みに対して、お釈迦さまは阿弥陀経の中で【今現在説法】とおっしゃっていま  
す。つまり、その教えは掲示板にある『今日行く処があること・今日の用事』を大切に  
しましょうと呼びかけてくださっているのです。

仏教の言葉は難しいとよく言われますが、悩むとき、迷うとき、仏様の前で手を合わ  
せて「南無阿弥陀仏」と念仏申せば、乗り越えるヒントがいただけるのです。